

西川・大井沢 地域医療に尽力、志田周子の生涯



映像制作会社「キャンター」の上野境介社長(左)らが映画制作に向けた思いを西川町・西川交流センターで語った。

映画化、本格始動へ

西川町大井沢で地域医療に生涯をささげた女医志田周子(ちかこ)の映画化を目指す「志田周子の生涯を銀幕に甦(よみがえ)らせる会」の設立総会が16日、同町の西川交流センターで開かれた。2013年度から映画制作の資金集めに入り、実現に向けて本格的に始動する。

映画化は2010年に町内会 出席。会長に阿部幸一月山朝で組織された「やまがたの宝日観光協会会長を選任し、小川部志田周子資源活用化実行委一博西川町長、渡辺兵吾大江社「キャンター」(東京)の員会」が検討を進めてきたも町長ら5人を顧問に迎えた。上野境介社長の3人が映画化ので、脚本家阿部美佳さん(尾花沢市出身)、プロデューサー岡雅史さん(東京)らを支えて可能性を探ってきた。

「甦らせる会」は実行委員会が主導して作った映画化の活動母体。昨年9月に会員を募集し、今年15日までに町内外の376人が加入した。設立総会には約170人が参加した。

総会では脚本を担当する阿部幸一月山朝、小川部志田周子、岡雅史、映像制作会社「キャンター」(東京)の上野境介社長の3人が映画化への思いを語り、阿部さんは「弟の二郎さんの視点から外に呼び掛けるほか、企業や団体の出資を募っていく。13年度までに5千万円を集めて脚本を制作。14年度の募金は3千万円を目標とし、国と県中の人たちにこの映画を届けたい」と意欲を語った。このほか、イメージソングの披露や紙芝居、語り劇の上演などがあった。

甦らせる会発足

14年度撮影めざす

Q 志田周子 1910(明治43)年、左沢町(現大江町)生まれ。志田家は大井沢村の名家で、父が大井沢小学校長となった14年に帰郷した。周子は現東京女子医科大学を卒業後、無医村だった同村に医師として着任。豪雪地帯での地域医療を一手に担い、村議や婦人会長も歴任。62年に51歳で死去した。